

創刊によせて

秋 田 稔

恵泉女学園大学創設一年にして紀要第一号が刊行される。心より喜びたい。

事柄の根源を問い、根源的なことからすべてを見返そうとする精神が学問的精神であろう。新しく発足した大学は、このような学問的姿勢を養い育てるものでなければならぬ。

生きた現実には常に動いている。とすれば現実を解釈する学問の立場も常にその立場の固定化を打破すべく現実より挑戦されており、絶えずその存立の危機に直面している。学問をして生きた学問たらしめているのは、この危機感を全身でうけとめ、その中でおも現実を貫いている根源的なものを確かめようとするところにある。この紀要も、こういう熾烈な戦いの場に身を置き、真理を求めての苦悩の底から執筆者一人ひとりが自らの責任において発言し、対話を求める場であると申してよいであろう。真理への忠実と謙遜に貫かれた対話の場としての紀要がたくましく育ってゆくことを創刊にあたって心から願う。